

日本ITU協会賞「国際活動奨励賞」受賞 ITU-AJ Encouragement Awards 2016

2016年5月17日の「世界情報社会・電気通信日」に、海上機器事業部企画推進部の宮寺好男氏が、一般財団法人日本ITU⁽¹⁾協会より日本ITU協会賞（国際活動奨励賞）を授与されました。

日本ITU協会賞とは

一般財団法人日本ITU協会では、ITUの目的達成及び我が国のITU関係諸活動の発展向上、世界情報社会サミットにおける基本宣言及び行動計画の実現ならびに情報通信及び放送分野における国際協力活動の発展を通じ、世界の情報通信及び放送分野の発展に寄与するため、1973年から授与しております。この日本ITU協会賞は、特別賞、功績賞、国際協力賞、国際活動奨励賞及び特別功労賞から構成され、その中でも国際活動奨励賞は、功績賞や国際協力賞に該当する諸活動に既に参加し、今後もこれらの領域で継続して寄与することが期待される方が対象とされる賞です。（日本ITU協会ホームページより）

今回の宮寺氏の受賞は、長年の海上無線通信に関する豊富な研究開発の経験をもとに、ITU-R⁽²⁾やIMO⁽³⁾などの国際会合に日本代表として参加していること。その中で、次世代のデジタル海上無線通信システムなどの標準化活動に主導的な立場で参加し、我が国の技術や主張を反映させたVDES（VHF Data Exchange System；海上VHF帯データ通信システム）などの技術開発・発展に貢献した功績が認められたものです。

[本人からのコメント]

この度は、日本ITU協会賞国際活動奨励賞 功績賞分野という栄誉ある賞を戴き、誠に光栄に存じます。一般財団法人日本ITU協会ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

海上無線通信は、GMDSS（Global Maritime Distress and Safety System；全世界的な海上における遭難・安全システム）をはじめとして、国際的に統一された通信システムの構築が不可欠です。更に、周波数の有効利用や安全・確実な無線通信の為に、今後ともデジタル化や新たな通信方式の導入などが進められ、国際標準化活動が更に重要になると考えております。

今後も当社の高い技術力を生かし、船舶の安全や効率的運行に寄与できるよう、一層の努力をする所存です。

- (1) ITU International Telecommunication Union 国際電気通信連合
- (2) ITU-R International Telecommunication Union Radio communications Sector 国際電気通信連合無線通信部門
- (3) IMO International Maritime Organization 国際海事機関

